

当院の新型コロナウイルス感染症対策

A.当院の自慢のラインアップから

1. 空間除菌消臭装置 Aeropure(エアロピュア)設置

※下線部をクリックするとエアロピュアの記事が表示されます。

宮崎大学医学部がその効果を論文で発表したコロナウイルスを確かに不活化させてくれる空気清浄機を準備しました。

待合室に配置①



待合室に配置②



患者様用男女更衣室に配置



外来診察室に配置



職員休憩室に配置



透析室お二人 1 台の目安で配置



1 台で約 8 畳に効果がありますので十分効果が発揮されていると思います。

2. 簡易隔離室



以前からあった簡易隔離室を新たに 3 室とし、発熱患者さんを透析しています。

ここでも、もちろん空間除菌消臭装置＝エアロピュアを常備させています。

3. 非接触性電動ハンドディスペンサー



手をかざすだけで、消毒液が出る手洗い装置を院内の要所要所に設けました。車椅子の方に合わせた高さのものも用意しています。

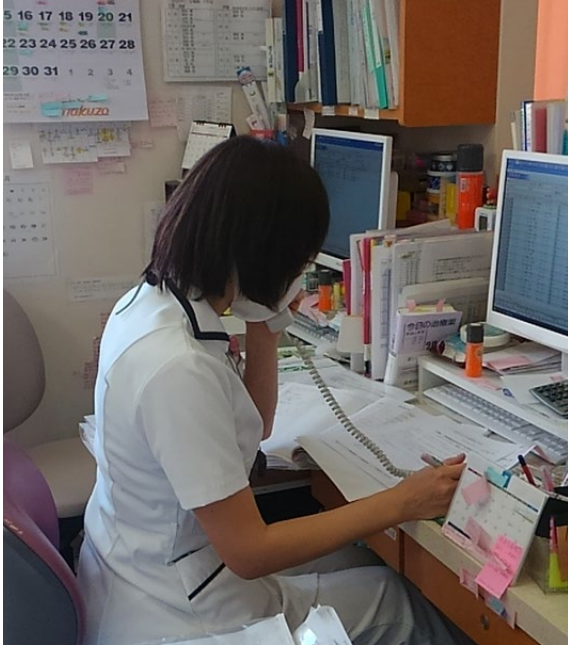
B. その他の感染対策

1. 外来患者様へ～院内掲示物で発熱時の対応をお願いしました。

身体の調子がおかしい、熱っぽいなど従来の風邪に似た症状のある患者様は、来院前に必ず当院へ電話連絡をお願いします。

院長

2.さらに外来患者様へ発熱時の対応を電話でお願いしました。



コロナウイルス感染対応のため、当院外来患者様をお願いしております。

身体の調子がおかしい、熱ぽいなど従来の風邪症状に似た症状のある患者様は来院前に必ず当院へ電話連絡をお願いします。

電話内容により適切な対応をとらせて頂きますのでご協力の程宜しくお願い申し上げます。

具体的には

マスクをお持ちであればきてください
クリニック前にも自動ドア入ってすぐのところにも消毒用アルコールを用意しております。
アルコールが大丈夫ならばまず手を消毒して下さい。

3.患者様へ～感染対策を啓蒙しています。

数々の定期的な配布物でコロナウイルス感染対策を啓蒙しています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応

～まだ喉元は過ぎていません。～

1.緊迫する状況

全国での急速な COVID-19 新規感染者の増加に伴い、透析患者における新規感染者数も急速に増加しております。7月31日に142人でしたが、8月14日には189人と、この2週間で47人もの患者が発生して、発生スピードがこれまでの5倍近くになっており、数か所の施設で集団感染事例が報告されております。

1. 人工透析をしている人は、新型コロナの死亡率が **4倍も高い**

私は患者さんたちをいたずらに 怖がらせるためにこれを書いているのではありません。長い間、我慢してきたのに、少し慣れたころ、感染対策がおろそかになっていませんか？

2.改めて感染対策

1)毎日の体温測定と健康状態の把握を指示してください。発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は、来院前に透析施設に必ず電話連絡するように指導してください。院内に感染症を持ち込まないことが極めて重要です。

新型コロナウイルス感染症についてのお問い合わせはこちらへ

・ 24時間対応コールセンター（相談窓口）078-362-9980

- 2) 常時マスクをしましょう。
3) マスクを外す食事中は静かに食べましょう。
施設によっては透析中の食事を禁止し始めています。



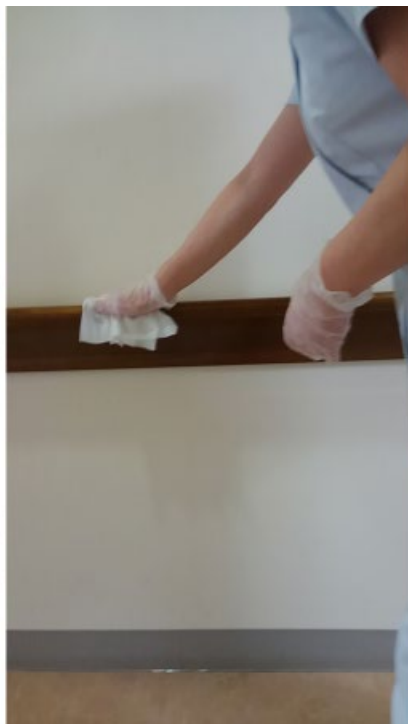
- 4) 更衣室はまさしく 3 密。長居はやめましょう。
5) 不要不急の外出や旅行は控えるようにお願いしてください。



4. 患者様専用出入口を設けました。



5.定期的な消毒液による器具/装置の消毒



体重計や廊下の手すり、レントゲン装置など定期的にあるいは使用のたびに消毒しています。



診察ベッドのカバー、枕カバーは診察ごとに取り替えています。

6.定期的な換気



更衣室は 24 時間、機械で換気をしています。

7. 職員の健康チェック

スタッフの体調管理法

(1) 出勤前または出勤時に体温測定して、院内の体温表に記載してもらう
当院では、37.5℃以上の熱があれば院長に報告するようにしています。

(2) 朝礼の場でスタッフの健康チェックを行う

朝礼では、担当者が「健康チェックします!」と言い、スタッフ一人ひとりの名前を呼び、呼ばれたスタッフは体調が良い場合は「元気です」、体調が悪いときは「●●(症状)です」と答えます。このとき、一人ひとりの名前を呼んで、きちんと顔(顔色)を見ることが大事です。

(3) 勤務中に体調が悪くなった場合は遠慮なく報告するよう、いつもスタッフに声をかける

(4) 不要不急の外出を避けるように伝える

(5) 高齢者施設などへの出入りをできる限り控えてもらう

これは「職員の体調管理」というわけではなく、行動指針として念のため伝えてあります。今回のウイルスは、症状がなかったり、軽いときでも人にうつす可能性があるので、重症になりやすい高齢者がいる施設にウイルスをできる限り持ち込まないようにするためです。

体温チェック表

3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/16	3/17	3/18	19	20	
35.4	36.2	36.2	36.1	—	—	—	35.7	35.9	36.0	—	—
—	—	36.4	—	36.6	36.4	36.3	36.6	36.7	36.8	36.8	—
36.6	—	—	35.5	35.5	35.2	35.7	36.0	36.0	—	35.5	35.
36.7	—	35.5	35.1	35.2	—	35.2	—	35.3	35.2	36.0	—
36.8	—	36.5	36.3	36.4	36.5	36.3	36.5	36.5	—	36.4	36.
36.2	36.4	36.4	—	36.2	—	36.3	—	36.2	36.8	—	36.

毎日体温を1日2回測定し、37度以上発熱者や体調不良者には休みを取ってもらっています。



職員休憩室は 2 か所
(2F/3F)にあり密を避
けています。

当然ながら、
空間除菌消臭装置＝エア
ロピュアを常備させてい
ます。

また、飛沫対策としてテ
ーブルにはアイリスオー
ヤマ製のアクリル板を
設置しています。